

## アーティストブックの理論的景観 -「実は、物だ」シリーズを通して-

私の目的は、芸術家の本にかんする一つの理論的な地図を描くことにあります。それは本のかたちで生み出された芸術作品と、作家と芸術家の共同制作としての本という二つの軸の間で描かれるものです。そして、出版者としての私自身の実践を「実は、物だ(En Fait, Des Objets)」(略称EF,DO)シリーズとともに、そこに位置づけたいと思います。本講演では、一緒に仕事をしている三人の芸術家、フレデリック・コシェ(銅版画)、オリヴィエ・デプレ(木版画)、ステファン・ロイエ(コラージュ)を例にとりあげ、最初の打ち合わせから実際の制作に至るまで、プロジェクト実現の各段階を紹介します。まず初期から現代までのいくつかのアーティストブックのライドショーをお見せし、その後EF,DOシリーズのアーティストブックを、そしてEF,DOシリーズのアーティストブックの元となった芸術家自身の手によるオリジナル作品のなかからセレクトしたものをお見せする予定です。

### オーレリアン・グレース

1976年生まれ、プロヴァンス在住。2006年より出版者として働くとともに、キュレーター、印刷業者として活動。文学、キリスト教神学、美術史の教育過程を経て、Questions théoriques社 (パリ、[www.questions-theoriques.com/](http://www.questions-theoriques.com/))で人文科学コレクションを担当、2024年にはNioques/Outside (ヴォルクス、[revuenioques.fr/](http://revuenioques.fr/))社で「実は、物だ」コレクションを創設。

### フレデリック・コシェ展 / 実は、物だ

早稲田大学戸山図書館にて、4月23日から5月16日まで、フレデリック・コシェの版画とEF,DOシリーズのアーティストブックを展示。

また、戸山キャンパス生協で4月22日から7月24日にかけてEF,DOシリーズのアーティストブックを販売予定。

フランスでは現在、エクス=アン=プロヴァンスのバンド・デシネ・フェスティバル([www.bd-aix.com/](http://www.bd-aix.com/))で、フレデリック・コシェの作品(版画、絵画、彫刻)を展示中。

翻訳: 森脇 慧

